



TORAY

A DOW and TORAY Joint Venture

テクニカルデータシート

DOWSIL™ SE 5006 Sealant

1成分形アルコール型防火戸用指定シリコーンシーリング材
JIS A5758 G-F-25HM (SR-1-9030) 適合品

特徴と長所

- DOWSIL™ SE 5006 は 1 成分形アルコール型の防火戸用指定シリコーンシーリング材です。
- 耐久性、耐候性に優れ、JIS A 5758 の耐久性区分 9030 に適合します。
- 優れた耐久性、耐候性を示します。
- 各種金属、ガラス、タイル、陶磁器等広範囲の基材に対して優れた接着性を示します。
- オキシム型に比べ低臭です。
- 硬化途上のムーブメントによる表面クラックが発生しにくい製品です。
- プラスチック、塗装アルミに対して優れた接着性を示します。
- 混合作業が不要な 1 成分形であり、作業性に優れています。

組成

- 1 成分形
- アルコール型
- 室温硬化型シーリング材

用途

- 防火設備の目地シール
- 防火区画の目地シール
- 防火戸の目地シール

※ 性能認定を必要とする場合があります。

代表特性

出荷規格ではありません。

試験方法 ¹	試験項目	単位	測定値
	外観		ペースト状
	流動性		なし
JIS A1439	タックフリー	min	10
	不揮発分	%	97.5
JIS K6249	密度		1.48
JIS K6249	引張強さ	N/mm ²	2.6
JIS K6249	伸び	%	665
JIS K7193	自然発火温度	°C	480
JIS K7201-2	酸素指数	%	30.5

1. JIS: Japanese Industrial Standard.

密度・引張強さ・伸びに関しては、23±2°C/50%RH×7日後

JIS A5758 にもとづく性能試験結果

項目	条件	単位	試験結果	判定基準
スランプ (縦)	5 ± 2°C	mm	0	3 mm 以下
	50 ± 2°C		0	
スランプ (横)	5 ± 2°C	mm	0	3 mm 以下
	50 ± 2°C		0	
弾性復元性	23 ± 2°C	%	97	70 % 以上
引張特性 (100%引張応力) ガラス	23 ± 2°C	N/mm ²	0.7	0.4 超え
	-20 ± 2°C		0.7	0.6 超え
引張特性 (100%引張応力) アルミ	23 ± 2°C	N/mm ²	0.7	0.4 超え
	-20 ± 2°C		0.7	0.6 超え
定伸長下での接着性ガラス	23 ± 2°C		異常なし	破壊してはならない
	-20 ± 2°C		異常なし	破壊してはならない
定伸長下での接着性アルミ	23 ± 2°C		異常なし	破壊してはならない
	-20 ± 2°C		異常なし	破壊してはならない
圧縮加熱・引張冷却後の接着性アルミ	23 ± 2°C		異常なし	破壊してはならない
人工光暴露後の接着性ガラス	23 ± 2°C		異常なし	破壊してはならない
水浸漬後の定伸長下での接着性ガラス	23 ± 2°C		異常なし	破壊してはならない
水浸漬後の定伸長下での接着性アルミ	23 ± 2°C		異常なし	破壊してはならない
体積変化(損失)		%	4	10 % 以下
耐久性区分	23 ± 2°C		9030	合格

®TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社の商標

DOW TORAY の商標の TORAY の部分は、使用許諾のもとで使用している東レ株式会社の商標です。

DOWSIL™ SE 5006 Sealant

© 2019–2020 The Dow Chemical Company. All rights reserved.

Form No. 62-1542-42-0420 S2D

防火戸用シーリング材 の発熱特性試験

防火戸用指定シーリング材

建設省告示第 1828 号（現在廃止）に規定する基材試験の発熱特性試験を行い、着炎時間および温度時間面積が規定の基準を満たし、かつ日本シーリング材工業会が定めたシーリング材としての性能を持つものを、日本シーリング材工業会が防火戸用シーリング材として指定し、（社）カーテンウォール・防火開口部協会に登録したものである。

発熱特性試験条件

財団法人ベターリビング つくば建築試験研究センターにて同告示に規定する基材試験に準拠した発熱特性試験を実施した。

加熱炉：基材試験用加熱炉

試験皿および支持ホルダー：ステンレス製ホルダーと試験体を入れるためのステンレス製試験皿を用いた。

試験時間：10 分間

判定基準：500℃ 加熱で着炎時間が 100 秒以上かつ温度時間面積が 50 以下であること。

発熱特性試験結果

項目	単位	1	2	3	
着炎時間	平均	秒	111.0	115.3	117.4
				114	
温度時間面積	平均	℃・分	28.63	1.05	13.14
				14.3	
各測定位置での最高温度	1	℃	727	697	713
	2	℃	784	611	832
	3	℃	725	702	715
	4	℃	728	688	718
	5	℃	747	726	732
燃焼時間	秒	489.0 以上	484.7 以上	482.6 以上	
加熱減量	g	3.0	3.1	3.6	
質量減少率	%	26.1	27.7	31.9	
判定			合格		

目地形状の略図

防火戸用指定シーリング材の目地の納まり関しましては、詳細は建築用シーリング材ハンドブック（日本シーリング材工業会発行）を参照下さい。

目地設計

目地設計は、JASS8（日本建築学会建築工事標準仕様書 防水工事）および「外壁接合部の水密度および施工に関する技術指針」に準拠して行って下さい。

目地深さの設定

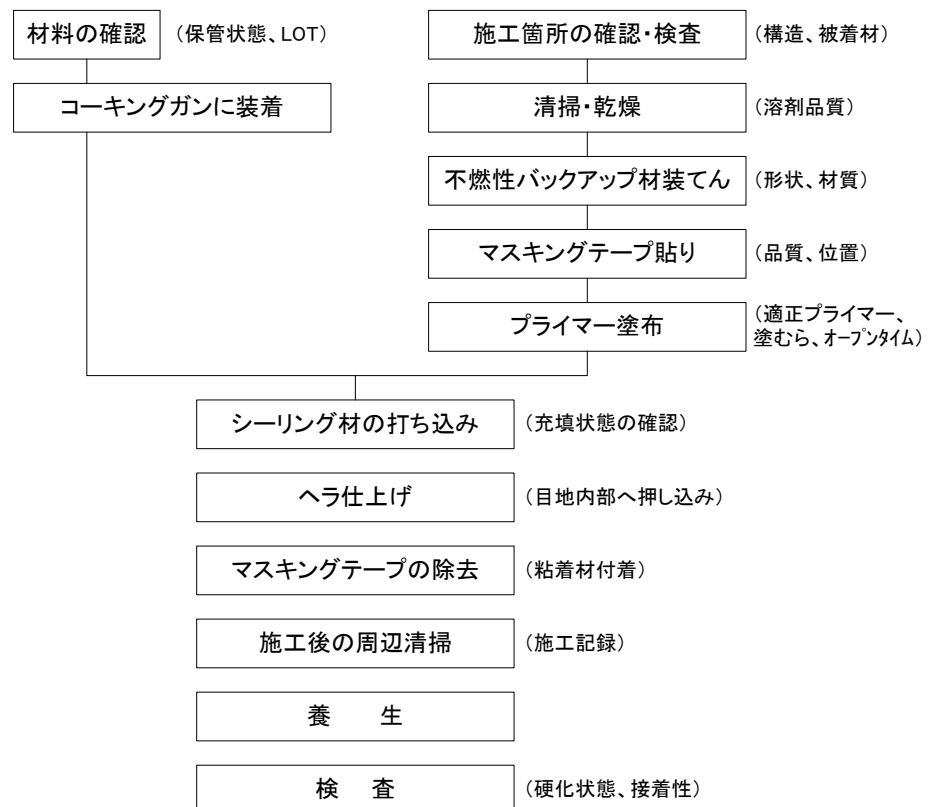
シーリング材の施工目地が深目地の場合、内部クラックや変色が発生する場合があります。目地深さ許容範囲内で施工して下さい。なお、詳細に関しましては、JASS8（日本建築学会建築工事標準仕様書 防水工事）を参照下さい。

プライマー

被着体	プライマー
ガラス・金属・金属塗装面	DOWSIL™ Primer-D3(RF)
コンクリート	DOWSIL™ Primer-B

施工手順および施工管理要領

施工手順は通常のシーリング材の施工と基本的に同じです。バックアップ材には、不燃性バックアップ材を必ずご使用ください。



適合規格

- JIS A 5758 G-F-25HM 9030 (SR-1)
- JSIA F☆☆☆☆
- JSIA 防火戸用指定シーリング材

標準色

DOWSIL™ SE 5006 は、ブラック、グレー、ライトグレー2、ホワイト、ダークブラウンの5色を取り揃えております。

使用方法

- 防火設備（防火戸）には不燃性バックアップ材を必ずご使用ください。
- バックアップ材の装填：目地寸法公差などを考慮しかつ装填後の状態を確認の上、適正な形状の指定された材料の不燃性バックアップ材を使用してください。
- 防火戸用シーリング材の目地への充填では、ガンの移動速度と、シーリング材の吐出量に注意してください。
- ノズルの先端が目地の内部に入るものを使用し、目地底、隅々に充填してください。
- 目地の交差する部分は一方の目地を充填し、かつ交差部で他方の目地にはみ出させるようにします。
- 充填を中断する場合は斜めにしておいてください。
- 硬化後に打ち継ぐ時は、打ち継ぎ面を溶剤で洗浄して乾燥後に行ってください。（必要に応じてプライマー塗布処理を行ってください。）
- 現場作業において降雨、降雪、強風時は作業を中断し、再開については十分に結露、ゴミの付着を調べて関係者と打ち合わせの上行ってください。
- 施工時適宜サンプリングしておき、後日の検査などに活用してください。
- 防火戸用シーリング材の保管は高温、直射日光、降雨を避けてください。

プライマー

確実な接着を実現するためにガラス、金属、多孔質類に関しては、プライマーをご使用ください。

また、必ず事前に同じ材料で接着性を確認してください。代表的なプライマーは以下の通りです。

プライマーの選定に関してご不明な点は、弊社までお問い合わせください。

- ガラス、金属、金属塗装面：DOWSIL™ Primer-D3(RF)
- コンクリート：DOWSIL™ Primer-B

使用上の注意

- 被着体は清浄かつ乾燥した状態でシーリング材を施工してください。
- 打設してから1日以内に雨掛かりすると表面荒れ、硬化不良の原因となりますので、雨水が掛からないように養生してください。
- 硬化中に目地に大きな動きが加わると、表面のシワや内部クラック等の欠陥を生じることがあります。
- 石目地、スレート目地等の外壁目地に使用した場合、目地周辺に汚染を生じることがあります。美観を重視される場合は事前に弊社にご相談ください。
- エアーガン使用の場合は、0.3 MPa (3.0 kgf/cm²) 以下でご使用ください。高圧で使用するとシーリング材が突出したり、カートリッジが破裂する危険があります。
- バックアップ材・防水シート等に EPT (EPDM)、クロロプレン系ゴムを使用される場合には、接触によりシーリング材が変質（接着不良、変色、軟化）することがあります。事前確認を推奨します。
- 未硬化、硬化途上のオキシム型シーリング材を打ち継ぐと変色しますのでご注意ください。

- 使用上の注意(続き)**
- 未硬化、硬化途上のオキシム型シーリング材に本シーリング材を打ち継ぐと変色しますのでご注意ください。
 - 夏場に高温の被着体（特に濃色の被着体）にシーラントを塗布すると、気泡やクラックが発生することがあるので注意が必要です。
 - 深目地の場合、内部クラックや変色が発生する可能性があります。目地深さ D と目地幅 W の比 $D/W=1.0$ 以下になるようにしてください。施工後は十分な硬化養生を実施してください。バックアップ材には連続気泡の不燃性バックアップ材を使用することを推奨します。
 - 高温に連続してさらされる用途には不適です。（上限目安：120°C）
 - 直接火の当たる部分には使用しないでください。難燃性シーリング材ですので DOWSIL™ SE 5006 だけで不燃性が要求される部位には使用しないでください。

使用に際し必要な安全情報は本データシートには記載されていません。ご使用前に、安全データシート(SDS)及び、パッケージ又はパッケージのラベルに表示されている注意書きをよく読んで、使用上の安全をはかって下さい。安全データシート(SDS)はウェブサイト、dow.com/ja-jp にアクセスしてお求めいただけます。さらに、代理店または担当営業にご依頼いただいても結構です。

保証期間 DOWSIL™ SE 5006 は直射日光を避け乾燥状態で冷暗所で保管してください。製造年月日から 12 カ月間使用可能です。製造年月日は、カートリッジに表示してあります。

包装単位 DOWSIL™ SE 5006 は、330 ml プラスチックカートリッジにて提供させていただきます。

医療・医薬品用途への制限 本製品は、（ヘルスケア用途製品を除き、）一般工業用途向けに開発・製造されたものです。弊社製品は、医療または医薬用途向けに適合するものとして、試験されておられません。また、そのように表明されるものでもありません。

健康および環境に関する情報 弊社は、お客様の製品安全の必要性をサポートするために、広範囲におよぶプロダクト・ステewardシップの組織やチームおよび各地域にて対応可能な製品安全並びに法令遵守のスペシャリストを有しております。

さらなる詳細な情報については、弊社のウェブサイト dow.com/ja-jp、または弊社の担当営業までご連絡下さい。

- 安全衛生上の注意事項**
- 換気の不十分な場所では、目を刺激したり、吸い込みによる障害の起こる恐れがあります。十分に換気された場所でご使用ください。
 - プライマーは引火性溶剤（消防法危険物第 4 類）を多量に含んでいます。火気には十分ご注意ください。
 - 未硬化のシーリング材が皮膚に付着した場合は、直ちに拭き取り、水、石鹼で十分洗ってください。
 - 目に入った場合は、直ちに流水で洗い流し、医師の診断を受けてください。

免責事項：使用条件や適用法令は場所によって異なり、また、時の経過により変更される場合がありますので、お客様におかれましては、本書記載の製品及び情報がお客様の使用（用途）に適しているかどうかを判断し、お客様の作業現場及び廃棄について、適用法令の遵守を確実にする責任があります。また、弊社又はその他の者が所有する特許権の侵害がないことを表明・保証するものではありません。本書記載の製品は、ダウが事業展開する特定の地域で販売あるいは使用できない場合があります。紹介された内容に関しては、特定の国での使用(用途)が承認されていない場合があります。「ダウ」又は「弊社」への言及は、特に明記しない限り、お客様に製品を販売するダウの法人を意味します。商品適格性又は特定目的のための適合性についての黙示的保証はすべて明示的に除外され、保証するものではありません。



A DOW and TORAY Joint Venture

◆特約店
株式会社アクト
〒179-0083
東京都練馬区平和台3-5-11
TEL : 03-5921-3655(代表)
WEBSITE : <https://act-shopping.jp/>